

地域包括ケア体制の実現を目指した高齢者施策展開と、ありたい姿に向けたロジックモデル（令和6～8年度）

最終アウトカム(ありたい姿)	施策の区分	施策	主な中間アウトカム		主なアウトプット(活動)		
			目標	成果指標	目標	活動指標	
健康寿命が延伸している 【平均自立期間(要介護2以上)】 R4 男性 81.3歳 女性 85.7歳 R7 男性 81.7歳(+0.4歳) 女性 84.6歳(Δ0.9歳)	健康づくり・介護予防	生きがいきづくり・健康づくり・介護予防の推進	社会参加している人の割合が増えている	何らかの地域の会やグループに参加していますか(元気高齢者) R4 50.7% R7 43.5% ▲7.2	社会参加につながる情報の発信	資源となる情報の収集とマップを策定(R8提供)	
			フレイルのリスクが抑制されている	友人・知人と会う頻度が、「週に何度かある」人(元気高齢者) R4 23.8% R7 24.0% +0.2	健康づくりに関する出前講座(一体化事業での出前講座を含む)	年10回 100人以上	
要介護・支援の認定率が抑えられている 【調整済み認定率】 参考:R3 13.5% 【箕輪町単独での認定率】 R3年度末 14.1% R7年12月末 15.2%(+1.1) (見える化システム(国)による)	介護予防・生活支援サービス事業	介護予防・生活支援サービス事業	要支援者のうち、1年後に重度化していない人の割合	要支援1⇒要支援1 R5 53.3% R7 59.0% +5.7	住民主体の通いの場としてサロン・百歳体操の数(箇所)	R4 60(37+23) R7 66(41+25)	
			高齢者のつまづきに対する理解や洞察から、介護予防・生活支援に資するサービスが再構築され、充実する	要支援2⇒要支援1.2 R5 61.5% R7 62.2% +0.7	Cサービス(日常生活の動作に関する短期指導)利用者	R4 5人 R7 16人	
年を重ねても、介護が必要になっても、幸福を実感しながら暮らしている 【主観的幸福度】 R4⇒R7 元気高齢者 6.99点⇒7.20点(+0.21点) 居宅要支援者1・2 6.22点⇒6.19点(Δ0.03点)	地域が主体になった高齢者を支える体制づくり	地域全体で高齢者を支える体制の整備	近所に困ったときに気軽に頼める人がいる割合が増えている	R4 54.7% R7 41.1% ▲13.6	地区でマッチングした生活支援件数	R4 303件 R7 227件	
		認知症の人にやさしい地域づくり	助け合いの中から、地区として必要なサービスが生まれている	認知症の人やその家族が、地域の人(支え手)と出会い、ともに安心して過ごせる場が増えている	R5 15区内で年2件程度 ⇒ R7継続	地区社協への参加、運営支援	R4 15区 R7 15区
		認知症が心配な人を必要な窓口につなぐことができる	窓口の包括支援センターの知名度が向上している (R4⇒R7)	通いの場への新規参加者数(未計測)	元気 13.8%⇒57.3% 居宅 27.4%⇒37.9%	認知症サポーター養成講座開催回数・受講者世代	小中学生年1回 成人年3回以上
最後まで在宅を選択しやすい環境がある 【在宅死亡率 自宅の割合】 2016-2020 5カ年平均 自宅 12.3% 2021-2025 5カ年平均 自宅 19.9%(+7.6%)	在宅で暮らせるための医療・介護の体制づくり	医療と介護が一体となった在宅サービスの推進	専門職の専門性の向上、連携のための関係づくり、他の専門職の視点の移転、不足するサービスのあぶりだしがなされている	協議に応じた資源開発によるインフォマースサービスの増 ⇒物忘れ外来連携	多職種連携カンファレンスの開催	年3回以上目標 ⇒R7 1回開催	
		介護人材の養成・確保	支援が必要なタイミングで介入できる体制が作られている	人材不足によりサービス利用を断った件数	調査未実施	業務効率化(事務軽減)と、医療介護人材の確保に励む	各種取り組み
		家族介護支援	自宅でも介護できると思える情報・技術が提供されている	自宅で人生の最終段階を迎えたい本人の割合	R4 56.4% R7 55.7% ▲0.7	包括支援センターの知名度が向上している (R4⇒R7)	元気 13.8%⇒57.3% 居宅 27.4%⇒37.9%
安全・安心な暮らしの確保	高齢者の虐待防止・権利擁護・消費生活	認知症や要介護状態になっても本人の意思が尊重され、権利が守られる	加齢により意思表示が難しくなることを理解し、そのために家族で話し合っている	人生の最期をどのように迎えたいか家族と話し合ったことがある R4 35.9% R7 34.9% ▲1.0	成年後見セミナーの開催	終活セミナーとして毎年開催	
			介護保険事業計画が見込み通り進んでいる	介護保険事業状況報告(年報)による実績と見込の比較	予防・介護・施設の実績による	ケアプランの最適化	ケアプラン点検の実施 年5～6件